

理研NMR施設成果非占有利用報告書

10-200-039

利用機関名	慶応義塾大学	
実施部署名	理工学部化学科	
実施責任者管理職名・氏名	准教授 / 末永聖武	
実施部署所在地		
実施部署連絡先		
利用課題名 (利用目的)	海洋シアノバクテリア由来ペプチド化合物の構造解析	
利用実施時期及び期間	平成22年12月13日～平成22年12月15日 総利用日数：2 当初計画どおり・当初計画変更 (変更理由)	
利用施設	NMR装置 (該当部分に○)	利用装置 ・()600MHz、()700MHz、(○)800MHz、()900MHz ()低温プローブ付 ()固体プローブ付 ()サンプルチェンジャー付 利用期間1：平成22年12月13日～平成22年12月15日 利用期間2：平成 年 月 日～平成 年 月 日 利用期間3：平成 年 月 日～平成 年 月 日 利用装置 ・()600MHz、()700MHz、()800MHz、()900MHz ()低温プローブ付 ()固体プローブ付 ()サンプルチェンジャー付 利用期間1：平成 年 月 日～平成 年 月 日

		利用期間 2 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 利用期間 3 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
		利用装置 ・ () 600MHz、() 700MHz、() 800MHz、() 900MHz () 低温プローブ付 () 固体プローブ付 () サンプルエンジヤ-付 利用期間 1 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 利用期間 2 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日 利用期間 3 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
		立体構造解析 パイプ ライン
		・ 発現確認 : 利用回数 回 ・ フォールド判定 : 利用回数 回 ・ 大量調製 : 利用回数 回 ・ 構造決定 : 利用回数 回
		利用満足度 (複数選択不可)
成果の概要	実施内容	<i>実際に行った作業の概要について記載してください。</i> 800 MHz の NMR 装置を用いて、4 種のサンプルについて ^1H NMR および各種 2 次元 NMR (COSY, HMQC, HMBC) を測定した。

	本課題により得られた成果、当初目標と結果との比較	<i>本課題実施の結果得られた成果および当初目標に対する達成度などについて記載してください。</i> 4種のサンプルのうち2種について平面構造を決定することができた。残りの2種も部分構造を推定することができ、現在さらに解析を進めている。 構造が決定できた2種のサンプルは非常に微量であり、400 MHz 装置では十分な S/N 比のデータが得られなかったが、800 MHz 装置により解決できた。 また、残りの2種については、400 MHz 装置でシグナルの分離が不十分で解析が困難であったが、800 MHz 装置ではシグナルの分離が良く、あらたな知見が得られた。
	今後の展開、課題	<i>本課題の結果を踏まえた今後の展開方針および目的達成に向けた今後の課題などについて記載してください。</i> 構造決定に至らなかった2種のサンプルについては、現在誘導反応を行っており、得られた生成物の構造解析を進めている。また、酸加水分解とキラル HPLC 分析により、立体化学を明らかにしようと計画している。
成果公開延期の希望の有無	() あり : (○) なし 「あり」の場合理由：	

利用における感想 (改善要望等を含む)	<i>本施設を利用して良かった点、改善してほしい点、提案事項など、施設利用の感想を記載してください。</i> 可能ならば利用料金を見直して欲しい。今回2日間の測定であったが、利用料金は3日分必要であった。実測定時間に応じて課金していただけるとありがたいです。
利用周辺環境に関する希望	特にありません。
今後の利用形態の予定	()成果の非公開を前提とした「外部利用」(有料)を考えている。 ()その他理研との共同研究等 具体的に
今後期待するその他のサービス	()NMR 装置利用の教育(これまでNMRを使用した経験の無い方に対する教育も含む) ()NMR 装置利用の技術的なサポート ()その他 具体的に

その他	(上記の項目以外でご意見等お願いします。)
-----	-----------------------

本報告書については、印刷または必要な編集・加工を行った上で公開します。また、別途開催予定の成果報告会・シンポジウムや委託事業報告書作成時において、本報告書の内容についての資料作成または発表をお願いする場合があります。

特許取得等の理由により公開の延期を希望する場合は必ず事前にご相談ください。